



おおや



学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

11月号 R6.10.31

発行責任者
校長 田崎 守

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

地域力で自主防災力の育成

先月までは WBGT 計測器とにらめっこしながら、暑さに気を配っていたところですが、最近では朝夕の涼しさを感じながら過ごす日々となりました。また、校内を巡回していると校庭、体育館前のキンモクセイの木の下を通り、甘い香りを嗅ぐたびに、秋の深まりを感じることがができます。学校では、運動会が終わり、校内音楽会に向けた取組、他校との交流行事、校外学習などを通じて、関わりを深めながら各種教育活動を進めております。

さて、10月26日、大谷小学校校庭で大谷地区自主防災組織連合会主催のマンホールトイレ設置訓練に参加しました。地域防災活動は、7月14日に避難所開設訓練に続き、今回は2回目の防災訓練となります。訓練の中では、震度5強以上の大きな地震が発生した際、校庭東側に16基のトイレの設置について、順序を確認しながら協働して行いました。設置する中では、様々な次のような点が話題となっていました。



令和6年度マンホール設置訓練の様子

- ・男性用、女性用のトイレの割合、他目的トイレの設置及び設置場所について
- ・トイレ使用にあたって、トイレトイレットペーパー等紙類の扱いについて
- ・夜間街灯のない暗い校庭でのマンホールトイレ設置について
- ・災害発生後のスピーディなトイレ設置のための保管場所について
- ・トイレに流す水の確保（下水道、プールの水、学校周辺の災害時協力井戸）について
- ・悪天候（雨天、強風、寒暖）時のトイレ設置の際に配慮することについて

約1時間の短時間での訓練ではありましたが、震災で200人を超える人が、1日5回使用することを想定しながら、参加者13人で活発な議論、試行を行い、昨年度以上に進化したものとなりました。

また、12月17日には大谷地区自主防災組織連合会の皆様がゲストティーチャーとして来校し、6年生を対象とした防災教室を行う予定です。実施を通して、小学生のころから、防災意識を高め、自分の身は自分で守ることができるよう、引き続き指導してまいります。



令和5年度防災教室の様子